令和4年12月17日(土)13:00~15:00 文化庁日本語教育大会 「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発の現状と展望

「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業 < 留学分野 >

- 江副隆秀
- 一般財団法人日本語教育振興協会、新宿日本語学校

日本語学校の取り組み

- 2006年~2011年
- 日振協スタンダードプロジェクト
 - CEFRを参照し、日本語使用の場面を調べ、日振協スタンダードとして まとめた。
- 2012-17年

Cand-do Statements研究会

• 予備教育到達目標スタンダードを作成した

(1) (財)日本語教育振興協会 東京地区評議員ニュース 2006 年 6 月 第11号



Can-do Statements 研究会

表 1-1 日本語学校進学予備教育到達目標スタンダード 全体像 (2010 年度版)

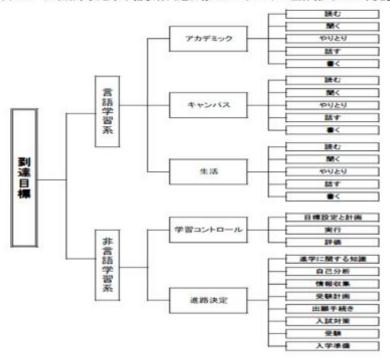


表 1-2 日本語学校進学予備教育到達目標スタンダード 全体像 (2016 年度版)

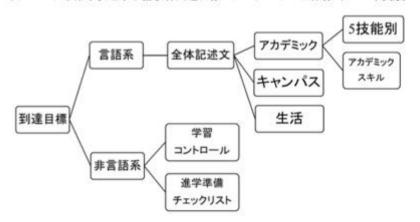


表6 アカデミックスキルの到達目標

2017.9.10版

200	777 - 777 - 77007			2011101101101	
カテゴリー	溝義	文献	レポート・小論文	ディスカッション	ブレゼンテーション
定義	やや専門的なテーマについての、口頭に よるモノローグ形式のまとまった説明や解 説			やや専門的なテーマについて、少人数で短 時間で行う討論(ディベートは含まない)	やや専門的なテーマについて、現状や課題をまとめ、自分の考えを加え、スライドやハンドアウトなどの視覚資料を見せながらロ で説明、解説、主張を行うもの
ゴール	の視覚的な助けがあれば、講義の展開や 重要なポイントをほぼ正確に理解すること ができる	文献を読んで、概要、要点、論理展開が把	テーマについて、関連する複数の資料を 用いて、テーマに関係する部分を引用、要 約、再構成したうえで、事実と意見を区別	ディスカッションに参加し、理由を挙げて自 分の意見を述べることができる	・関心のある分野であれば、やや専門的な テーマについて、スライドや発表原稿を準 したうえで、視覚資料を効果的に使いながら、聞き手にとってわかりやすく説得力のある。10分程度のプレゼンテーションをすることができる・想定の範囲内の質問になら、ある程度減暢に答えることができる
構成要素	講義の大まかな展開を把握することができる すでに話された内容と今話されている内容を 関連づけて聞くことができる 次への展開を予測しながら聞くことができる	背景知識を活用しながら読むことができる 譲垣展開を把握することができる 次への展開を予測しながら読むことができる わからない部分を前後から推測することができ	課題やテーマを正しくとらえることができる 課題やテーマに沿って論点を立てることができる る レポート、または小論文の基本的な構成を示 すことができる。 フィカーネットが無限 雑誌のお来たども250	課題やアーマに対って請点を立てることができる 理由を挙げて自分の意見を述べることができる	課題やテーマを正しくとらえることができる 課題やテーマに沿った適切な内容で免表する とかできる 効果的な構成を考えることができる 見やすく効果的なスライドやレジュメ(箇条書き
	話題の転換点をとらえることができる 講義のポイントをとらえることができる	わからない部分を削減から推測することができる 目的に応じて、必要な部分を輸出することができる 内容を理解するためのキーとなる語句を特定で	リソースから必要な情報を得ることができる 引用することができる	他の参加者の発言を積極的に関くことかできる 他の参加者の発言の主旨や意図を的確にとら タスニレができる	体言止めを含む)を作ることができる 関き手にわかりやすい説明や描写をすること できる
	キーワードを特定することができる トピックに関わる用語の定義を把握することが できる	けるとを提供することができる 論点、根拠を把握することができる	要的することができる 日本語以外のデータを翻訳することができる	他の参加者の発言を聞いて、かみ合った議論を することができる それぞれの意見の共通点や対立点を明確にす ることができる	理由を挙げて考えを述べることができる 事実と意見を区別して述べることができる
	背景知識を活用しながら聞くことができる	目的に応じて、複数の文章を関係づけることが できる	グラフや表の読み取りができる	同意することができる	必要があれば、主張を裏付ける資料を示す ができる
	聞き取れない部分に固執しないで次を聞くこと ができる 内容の不要な部分を聞き流すことができる	妥当性、整合性といった観点から文章を批判的 に味むことができる	構成のメモを作ることができる 構成に出つく、アーフを効果的にボチェとかで	効果的に反論することができる 的確な質問をすることができる	スライド・レジュメなどの視覚資料を適切にながら発表することができる 関き手の反応を見ながら話すことができる 終始、適切な物度(姿勢、立ち位置、ジ:
	講義の要点をノートに取ることができる 内容に関して質問することができる		事実と意見を区別して書くことができる 字数を守って書くことができる	質問に答えることができる 異なる意見を尊重することができる	チャー、アイコンタクトなど)や話し方(ボーズ ビード、音量など)で発表することができる 十分に明瞭な音声(発音、アクセント、イント: ション、リズム、プロミネンスなど)で話すことが
	視覚資料の該当箇所を特定することができる		論理的で一貫性のある展開で書くことができる	「現を用いることかできる	想定した質問に答えることができる
	ハンドアウト、スライド、板書等の視覚資料を読 むことができる		語の定義をすることができる	発言や議論が課題やテーマに沿っているか判断 することができる	i
	講義の内容を理解するために視覚資料を活用 することができる シラバスを読んで講義の目的・意図を把握す		鎌点を明確にして書くことができる 鎌点を支持するための客観的な根拠を示すこ	議論の展開を調整することができる	
	ンフハスを飲んで講義の目的・息回を完璧することができる 標準的でない話し方であっても聞くことができる 明瞭でない音声を聞き取ることができる		議局を支持するためい各戦的な債券を示すことができる 用紙に合わせた遺切な書式で書くことができる 故紅ヤス流の年税な誤りを停止することができる。	他の参加者の発音を促すことかできる	
			内容や構成の点から自分の書いた文章を見 直すことができる		

教育モデル開発検討会議

委員 江副隆秀 新宿日本語学校 校長

委員 奥村三菜子 NPO法人YYJゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事長

委員 佐々木倫子 桜美林大学 名誉教授

委員 真嶋潤子 大阪大学 名誉教授

委員 柳澤好昭 専修大学 講師

委員 亀田美保 大阪YMCA日本語教育センター センター長

委員 竹田悦子 コミュニカ学院 顧問

委員 山本弘子 カイ日本語スクール 代表

コースカリキュラム・シラバスの開発

教師研修モデル開発及び実施

成果報告

新宿日本語学校 校長 委員 江副隆秀 委員 奥村三菜子 NPO法人YYJゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事長 委員 柏谷涼介 セントラルジャパン日本語学校 主任教員 委員 亀田美保 大阪YMCA日本語教育センター センター長 委員 久保田文子京進ランゲージアカデミー教務主任 委員 佐久間みのり横浜デザイン学院日本語学科教務主任 委員 竹田悦子 コミュニカ学院顧問 委員 野田敏郎 国際ことば学院 校長 委員 松葉優子 浜松日本語学院 教務課長 カイ日本語スクール 代表 委員 山本弘子

高等教育機関進学 就職希望者 生活分野 就労分野 留学分野 基礎的日本語教育

告示校の日本語教師はどこでもお役に立てるプロとしても期待されていると感じている。

平成19年(2007)世界の言語教育の潮流と日本語学校の未来Ⅱ

程 平成19年 8月8日(水)~9日(木)

所 東京ファッションタウンビル(TFT ビル) 東館9F

テーマ 世界の言語教育の潮流と日本語学校の未来Ⅱ

日本語教育振興協会 催 財団法人

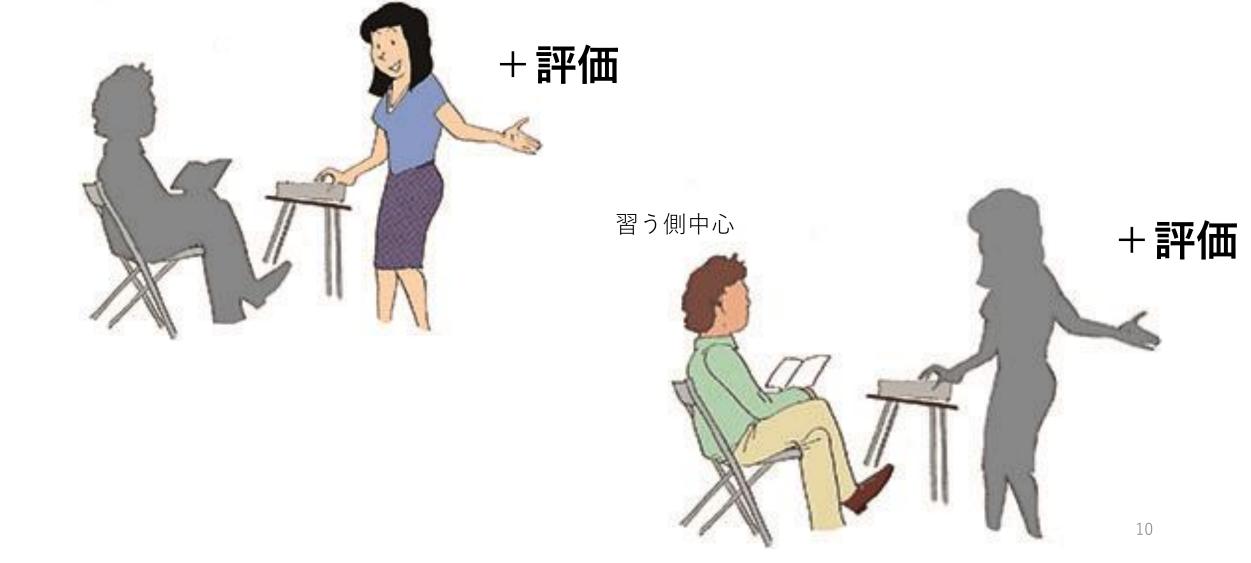
1日目 8月8日 (水) 9:20 受付開始	2日目 8月9日 (木) 10:00
9:50	10:00-11:15 特定課題研究ラウンドテーブル
大会趣旨説明	ァーマ 「日本語教育スタンダードと私たちの教育実践」
大会委員長 奥田純子(コミュニカ学院 学院長)	特定課題研究(1)「日本語学校が必要とする『日本語教育スタンダード』とは」
10:00-10:25	発題者 江副隆秀(新宿日本語学校)
挨拶 理事長 佐藤次郎	加藤早苗(インターカルト日本語学校)
文部科学省 高等教育局学生支援課 留学生交流室县	し 山本弘子 (カイ日本語スクール)
10:25-12:00	特定課題研究(2)「学習目標を捉え直す」
特別講演「ヨーロッパ共通参照枠と日本語教育の	理場 発題者 朝日恵子(横浜デザイン学院)
講師田中和美氏	バロス造田幸子(専門学校穴吹ビジネスカレッジ)
ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(SOAS) Senio	Ir Lector 黒崎誠(ラポ日本語教育研修所)
前ヨーロッパ日本語教師会会長	11:25-12:00 自由研究発表:
13:30-15:30	1.「相互に学び合う有機的な教室活動デザインを実践する」佐藤正則他3名(アークアカデミー池袋校)
シンポジウム 「日本語教育スタンダードと教育実践	2. 「学習者と実習生(教育実習)によるピア・ラーニング」長谷川悟司 他2名(アークアカデミー渋谷校)
シンポジスト	3. 「俳句を授業に取り入れる実践例」 島内知彦 (オイスカ開発教育専門学校)
嘉数勝美氏(国際交流基金 日本語事業部長)	12:00-13:30 ポスター発表:
真嶋潤子氏(大阪外国語大学 准教授)	1. 「上級における映像を活用した語彙運用の授業の実践」井上洋輔他2名(ラボ日本語教育研修所) 2. 「動詞の新しい教え方」 宮本洋子 他2名(新宿日本語学校)

CEFRの考え方

- 1)総括的であること
- 2) 開放的であること
- 3)柔軟であること
- 4) 創造的であること
- 5) 「過程」であり「完成品」ではないこと
 - ◎Product でなくProcess
- 6) ネットワーキングのためであること
- 7) 強制すべきものではないこと(強制や寡占的ではない)

CEFRの考え方

教える側中心



短縮!		案内など)に単語や単文で対応できる。	日常生活で見聞きすることに不完全ながらも 対応できる。理由や気持ちを含んだ表現ができる。	日常的な話題なら、多少長くても要点を掴み、なんとか対応できる。知っている知識の 範囲で自分の意見を述べることができる。	日常生活以外でも関心のある分野であれば 類推して要点を理解し、対応できる。語彙や 表現が不十分でも、まとまった内容を表現で きる。	関心のある分野ならかなり複雑な内容でも、 下調べなどすれば概要が理解でき、自分の 意見を述べることができる。	社会や世界で話題になっている分野であれ ば専門外であっても理解し、自分の意見を述 べることができる。	抽象的で複雑な内容でも、ほとんど苦労する ことなく対応し、豊富な語彙を使って表現がで きる。	
					,	入試、インターンシップ可能 対応可能 視野に入る なんとか可能	大学進学、インターンシップに十分対応し、就 職も可能。		<i></i>
日振協スタ	ンダード	NS1	NS2	NS3	NS4	NS5	NS6	NS7	T
二 韓	国語系	140~180時間土	100~160(計220~320)時間土	200~300(計420~620)時間土	200~220(計440~840)時間土	300(計740~1140)時間土	300(計1040~1440)時間土	400~600(計1440~2040)時間土	
マ 漢 時	*************************************	160~180時間土	150~220(計310~400)時間土	200~300(計510~700)時間土	200~260(計710~960)時間士	300~380(計1010~1340)時間土	300~400(計1310~1740)時間土	400~600(計1710~2340)時間土	***************************************
	漢字系	180~210時間土	150~260(計310~440)時間士	200~400(計510~840)時間±	200~400(計710~1240)時間士	400~720(計1010~1960)時間土	400~760(計1510~2720)時間土	400~800(計1910~3600)時間土	
	目標		短く、簡単な定型的な表現であれば、身近な 話題や日常生活の中で、簡単なメッセージや アナウンスの言葉を聞き取ることができる。	聞き手に配慮した話し方であれば、 身近な話題や日常生活の中で、知らない言葉があっても要点が理解できる。	明瞭で標準的な話し方であれば、日常の話題だけではなく、関心のある分野もしくは専門分野の話題について、知らない言葉があっても類推し要点を理解できる。		社会や世界で話題になっている話や関心のある分野なら、専門外であっても、内容を把握し、スピーチレベルなどから話者の立場や状況等まで理解できる。	専門外の分野の抽象的で複雑な話題でも、 複雑で長い話を、理解することができる。	どんな種類の話 ピードの母語話 理解することが
聞くこと	例示	- 場所や日時、値段などが聞き取れる。 - 挨拶などの決まった表現が聞き取れる。 - 教師の指示が聞き取れる。	 駅名などの短い単語のアナウンスが聞き取れる。 留守電の簡単なメッセージが聞き取れる。 	・テレビやパソコン動画などで、自分にとって 必要な情報を聞き取ることができる。 ・アルバイトの指示など、順を追った説明が 分かる。 ・簡単な講義の要点が聞き取れる。	・テレビやパソコン動画などで、要点が聞き取れる。 ・専門分野の講義の要点が聞き取れる。 ・スピーチの要点が分かる。 ・日的や理由を踏まえて発せられた指示が 聞き取れる。	・ラジオなどの情報メディアから、時事問題等の要点が聞き取れる。 ・レジュメやパワーポイントがあれば、講義の概要が理解できる。	・ニュース解説が聞き取れる。 ・テレビのドキュメンタリーが理解できる。 ・標準語で話された映画のほとんどが理解できる。 ・かなり複雑な講義が聞き取れる。 ・会議やシンポジウムの内容・議論が理解できる。	・グループ討議やディベートなどでの複雑な対話を容易に理解できる。 ・取り扱い説明などの複雑な専門的情報が理解できる。 ・聞き取れないほど音質の悪いアナウンスから、特定の情報を聞き出すことができる。 ・俗語や慣用表現が使わている映画が理解できる。	・耳慣れない専 ブレぜンテーシ:
理	目標	身近でよく見る情報であれば、学内や学校の 行き帰りで目にする、単語や簡単で短い文が 理解できる。		日常よく目にする言葉で書かれていれば、身近な話題について簡潔に書かれた短い文章(400~800字)の概略を理解できる。	自分の専門分野や関心のある話題であれば、事実関係について簡潔に書かれた文章の内容を理解できる。	関心のある分野なら、筆者の見解や意見が 書かれた文章の事実関係や主張を大まかに 理解できる。	社会や世界で話題になっている話や関心の ある分野なら、筆者の見解や意見が書かれ た文章を理解することができる。	専門外の分野の抽象的で複雑な話題でも、 難解な部分を読み返しながら長い文章を、理 解することができる。	あらゆる形式の 高く構造的にも 理解することが
読むこと		案内が理解できる。 ・店の広告から、営業時間や場所など必要な情報が得られる。 ・施設の看板から開館時間や休日など必要な情報が得られる。 ・簡単な問題文が読める。	・パンフレットなどを読んで、必要な情報が得	・短い記事から5W1Hなどの事実が読み取れる。 ・身近な話題の説明文、エッセイの大意や筆者の意図が理解できる。 ・図やグラフ、表などが読み取れる。 ・決まった表現で書かれた日常的なメールなどが理解できる。	・雑誌やカタログなどから、自分にとって必要な情報を理解して取り出せる。 ・日常的なメールなどが理解できる。	・普段見聞きする話題の社説や論説文を読んで、概要が理解できる。 ・身近な話題の小説が理解できる。 ・会議の資料に目を通し、概要が理解できる。 ・会議の資料に目を通し、概要が理解できる。(B)	・自分の専門分野の抽象的かつ、具体的な話題の複雑なテキストの主要な内容が理解できる。 ・社説などの長い新聞記事や論説文を読んで理解できる。 ・仕事で必要な専門書や論文が理解できる。 (B) ・日常的なビジネス文書を正確に理解することができる。(B)	・専門外の分野の専門書は難解な部分を読み返しながら読むことができる。 ・自分の専門分野の複雑なテキストを細かいところまで正確に理解できる。 ・様々な手書きのスタイルで書かれたものを読み取ることができる。 ・資料からビジネス上の情報や考え方を理解することができる。(®)	・文学作品におり 間のニュアンス・契約書や約款 ではない文書が
	漢字	自分や自分に関する情報(住所、学校名、駅 名)を表す漢字語彙を読むことができる。学 生生活を送る上で、身近で日常的に接する 漢字語彙(学校の掲示物など)を読むことが できる。 漢字数の目安(累計):30~100	「読む」参照 漢字数の目安(累計):100~350	「読む」参照 漢字数の目安(累計):350~800	「読む」参照 漢字数の目安(累計):800~1400	「読む」参照 漢字数の目安(累計):1400~2000			
書く	目標	書式や様式の書き方を知っていれば、単語 や簡単な文、表現を用いて、自分や自分に関 係する情報(名前、国籍、住所等)を書くこと ができる。	とがらや、身近で具体的なもの(メモやメッ			関心のある分野なら、幅広いことがらについて、根拠を示しながら、自分の意見等を明瞭 に示すエッセイやレポートを書くことができる。	ある分野なら、幅広いことがらについて、一定		流暢に、かつ説ができる。
ک	例示	・申込書に名前、国籍や住所などの個人 データを書き込むことができる。 ・自分について、簡単な自己紹介文が書ける。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・メモやメッセージを作成することができる。 ・各種証明書の申込書に記入できる。 ・年質状、挨拶状が書ける。 ・400字程度の文章が書ける。	・携帯メールで、親しい友人とやり取りができる。 ・資料請求のメールが出せる。 ・問い合わせのメールが出せる。 ・履歴書が書ける。 ・礼状が書ける。 ・800字程度の文章が書ける。	書ける。 ・レポート、報告書、志望理由書が書ける。	・大学院の受験時に求められる研究計画書が書ける。 ・新聞の投書欄に投稿できる。 ・出張報告書、業務報告書等を書くことができる。(B)	・専門分野に関する小論文を書くことができる。 ・人物評、映画評など、自分のよく知っている事柄に関する評論文を書くことができる。 ・意見、論点、検討内容を含んでいるニュース、インタビュー、ドキュメンタリーからの抜粋を要約することができる。	・複雑な主題を扱ったレポートが書ける。 ・書き手の印象や態度等を盛り込んだ描写 文を書くことができる。 ・長い、難しいテクストを要約することができる。	・効果的で説得ことができる。 ・文学作品の評・異なる情報源・張を整理して、こめすことができ

		A1	A2	B1	B2
理解する	聞くこと	場所や日時、値 段などが聞き取 れる。			
こと	読むこ	身の回りの表示が読める。			
	ح ا	漢 基本の漢字			
₹	世ョ・ノ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	字			
ځ		スマホで簡単な メールが打てる。			
	舌ナーニ	自分について説 明できる。			
ا ک	ر ا ا	一人で、目的地 まで行ける。			

人生チャート

																												Second S	定年後の生活
												死亡・葬儀															B1.96	定年	
and a			恋愛								定年後の生活	AL FIR														退職・転職	l		
↓親	↓子供								動務	定年													at the	195	吉婚生活				
恋愛の言葉							結婚生活	退職·転職														助務	恋爱						
結婚手続き				0	100	853G	和班工品														it Big	LI CH							
家族・付き合い				助形	恋想	5			+	\vdash		-					-		学習	卒業				-					
奎婦人科									#	=							7	大学等進学	-										
马子手帳																留学	受験												
出産手続き等									\vdash	\vdash				中学校	高校		-							-					
出生手続き等													小学校	TTIA															
小児科										I was no	保育園	幼稚園																	
								出産	誕生	育児																			
、学手続き							妊娠	LUIZE.	M.Z.																				
母会					結束	結婚生活			+	_																			
TA				0.5																									
	子供の学習				120																								
	学習用語				0	0				\vdash		+					-				-						+		
	科目					15	0	0	0																				
	留学手続き						U	0	-																				
	外国語学習				-				0	0	0	0	0										-				-		
	学校選択								1					0	0														
	受験勉強								=	0	00		986.5		0	20													
	人水池流	子供の学習	_	-					-	1	0	0	0	0	-	0													
		学習用語										0	0	0	00														
		科目 留学手続き												0		0													
		外国語学習 学校選択														0	0						80						
		受験勉強							=	=						(0					_	5						
		受験 入学手続き							+	1						(0 (0	0										
		科目学習																		00									
		就職活動 卒業論文																											
		財職 仕事							+	-			-							(0	0							
		恋爱	7.8h						1												`	-	0						
		ボランティア 結婚手続き																					c)					
		家族・付き合	L)						-															()	0			
		仕事の言葉																								0	0		
		動務 定年							-	-		-	-														0	0	







読む	聞く	話す	書く
A1~C1までの能力	A1~C1までの能力	A1~C1までの能力	A1~C1までの能力

委員会実施状況

- 委員会内での自主勉強会(6~9月、全10回)
- 実態調査のための事前アンケート実施(9/12~23)
- 委員会開催

自主勉強会の様子



事前アンケート調査 簡易集計 (2022年9月23日現在)

【「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル 開発事業(留学分野)】に関するアンケート調査

このアンケート調査は、「一般財団法人日本語教育振興協会(日振協)」が文化庁より受託した「令和4年度<u>「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業</u>(留学分野)」の教育モデル開発を目的として実施するものです。

● 実施目的:「日本語教育の参照枠*」に対する法務省告示校における日本語教員個々 人の意識および活用の実際について調査を行い、その実態を把握すること。

★注意: CEFRではなく、文化庁の「日本語教育の参照枠」についてご回答ください。

● 対象者:「法務省告示校」で日本語教育に携わっている方々(個々人) ※非常勤講師などで「法務省告示校」以外の日本語教育も行っている方は、「法務省告示校」での日本語教育についてのみ、ご回答ください。

★注意: 本アンケート調査は、法務省告示校において日本語教育に携わっている「個人」を対象として行うものです。「日本語教育機関」を対象とした調査ではございません。

調査実施期間:2022年9月12日(月)~9月22日(木)

・実施元:「教育モデル開発検討委員会」(一般財団法人日本語教育振興協会)

·質問数:最大10問

·回答所要時間:5~10分程度

☆個人情報保護について:

本調査結果は実施者が厳重に管理し、当該事業以外の目的に使用することはございません。データは回答IDで管理しますので、公表の際にも個人情報が外部に漏れたり、個人が特定されるような取り扱いは決していたしません。

※回答数:340件、有効回答:N=340

● 実施目的:

「日本語教育の参照枠」に対する法務省告示校 における日本語教員個々人の意識および活用の 実際について調査を行い、その実態を把握する こと。

● 対象者:

「法務省告示校」で日本語教育に携わっている 方々(個々人)

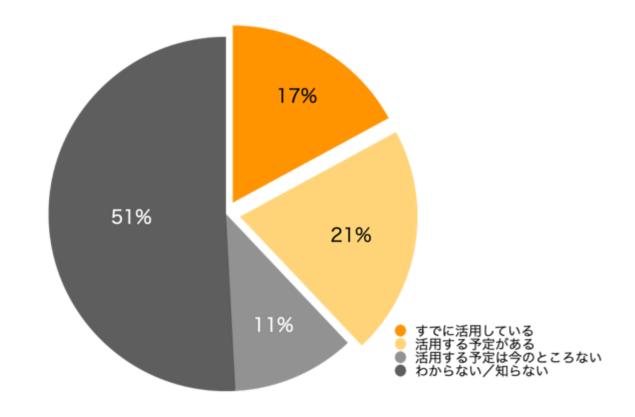
■調査実施期間:2022年9月12日(月)~9月22日(木)

アンケート結果概要

- 回答者:非常勤講師60%、常勤20%、主任12%、ほか8%
- カリキュラムデザイン経験:なし60%、あり40%
- 参照枠について:知っている+読んだ 62%読んでいないor知らない 38%
- 参照枠は、①学習目標・授業活動・評価②教師の役割や教師自身の教育観・内省に活用したいと考えている

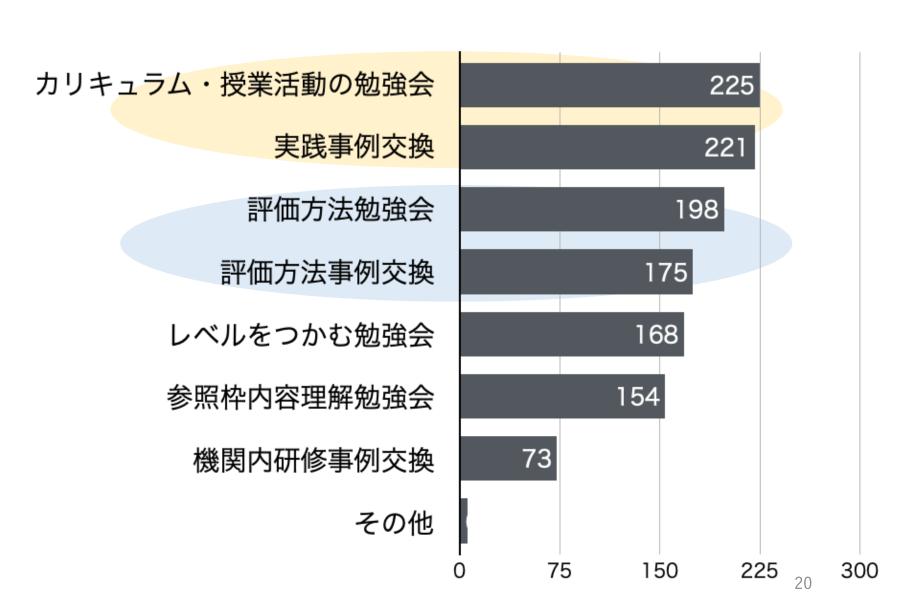
参照枠活用状況について

- ●回答者の約4割が、勤務校でも すでに取り入れているか、あるいは 活用の予定があると回答
- ●一方、その予定がないという回答 も含め、全体の約6割が、検討さ れていない状況



教育実践に必要な勉強会、リソースについて

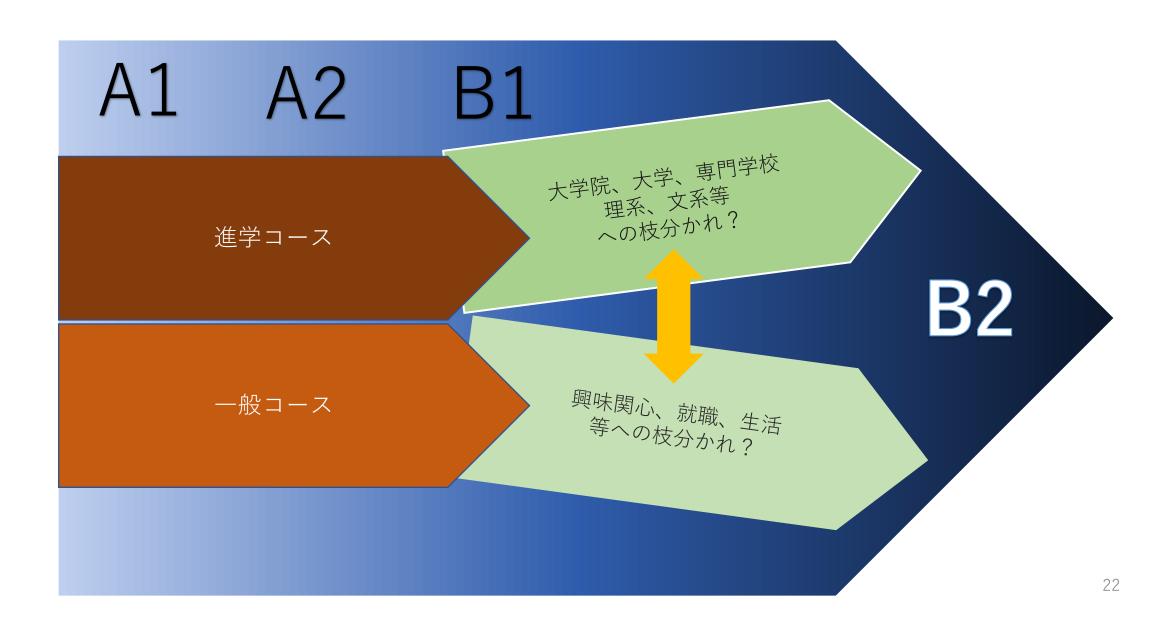
- 実際の授業実践 についての勉強 会や事例交換に つづき、
- 評価方法についての勉強会・事例交換を求める声が多く寄せられた



自由記述より(105件中、有効回答103件:特になし、党除外)

- CEFRを参照してすでに実施していたカリキュラムや評価が使えるのか。
- 参照枠をどの程度参照すれば良いのか。どの程度の統制を強いられるのか。
- 経験の浅い教師も多く、教科書ありきの授業が常態化する中、(参照枠)の実践 に舵を切るのが難しい状況。
- 学生の目標が受験(EJU や JLPT の合格含む)」になっているため、参照枠はとてもいいものだがカリキュラムにどこまで落とし込めるのか、どのように落とし込めば学生に魅力的に映るのかが大きな悩みである。
- 学習者の進路指導、特に進学先で求められる学習評価との乖離がどう埋められる のか。
- 参照枠を鵜呑みにせず、各日本語教育機関の特徴に応じて使いこなすなどの工夫が必要
- 質的検証で「日本語教 育の参照枠」の話を聞いたとき画期的と感じた。
- 日本語関係の試験が参照枠に見合った内容に変化することを期待する。

留学分野カリキュラムデザインイメージ



カリキュラムデザインの流れ

教育理念

(教育の目的・育てたい人物)

- ・日本語学習者を社会的存在としてとらえる
- ・言語を使って「できること」に注目する
- ・多様な日本語使用を尊重する



(評価方法、ルーブリック等の例)

※参考:さまざまな学生の入学~卒業までの例 (江副氏作成)

Aさん: A2~B1レベルで入学・専門レベルを2回履修し2年間で卒業。

	180H	3ヶ月										
専門等												
C1												
B2~C1												
B2												
B1~B2												
B1												
A2~B1												
A2												
A1~A2												
A1												

Bさん: Oから学習。180時間をオンラインで学習。入学はA1から。卒業はB2~C1。

	180H	3ヶ月										
専門等												
C1												
B2~C1												
B2												
B1~B2												
B1												
A2~B1												
A2												
A1~A2												
A1												

Cさん:B1で入学、途中再履修を繰り返しながら、C1で卒業。

	180H	3ヶ月										
専門等												
C1												
B2~C1												
B2												
B1~B2												
B1												
A2~B1												
A2												
A1~A2												
A1												

学生A (例えば日系人)

		٨	 ウリ	取り)				舌す	こと	_			Ī	書く	こと	-			<u>=</u>	売む	こと	-			5	引く	こと	-	
	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
1																														
2																														
3																														
4																														





令和4年12月17日(土)13:00~15:00 文化庁日本語教育大会 「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発の現状と展望

「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業 < 留学分野 >

- 江副隆秀
- 一般財団法人日本語教育振興協会、新宿日本語学校